

道路橋名	フリガナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
八日市橋	ヨカイチハン	江刺	桜木橋大通線	1987	6.3	10.3	II	橋台に伸縮装置からの漏水が要因と思われる遊離石灰が見られる。損傷範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.187222度	141.171111度
町浦排水路10号橋	マチウラハイスイロコウキョウ	江刺	桜木橋大通線	不明	2.9	7.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.188888度	141.174166度
竹洞橋	タケアナハシ	江刺	竹洞浅倉線	1980	12	4.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.19131度	141.23327度
穴沢橋	アナザハシ	江刺	竹洞浅倉線	1979	5.3	5.6	II	変状の進展性が見られることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましいと判断し、健全度「II」と判定した。	39.19515度	141.24924度
前村橋	マエムラハシ	江刺	竹洞浅倉線	1979	5.45	5.6	II	床版コンクリートの内部に遷移目地材(エラストイト)が混入し、コンクリートが剥落している。予防保全の観点から対策が望ましい状態。	39.19246度	141.25441度
中堰橋	ナカセキハシ	江刺	玉里藤里線	1980	2.9	6	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.22672度	141.25463度
下中島橋	シモナカジマハシ	江刺	人首街道線	1980	3.6	6	II	頂版に局部的な剥離・鉄筋露出が認められる。また舗装面に亀甲状のひびわれが認められることから頂版上面の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.216180度	141.216080度
信行寺橋	シンキョウジハシ	江刺	人首街道線	1982	5.5	7.1	II	桁橋部の床版に遊離石灰を伴ったひびわれがみられる。新規変状も生じており、今後の劣化進展に注意が必要である。予防保全対策が望ましい。	39.21512度	141.22549度
帯坂橋	オビザカハシ	江刺	人首街道線	1972	12.2	3	II	橋台堅壁の角部にコンクリート欠損が見られる。桁かかり長にも影響が生じる可能性があり、予防保全の観点から対策を講ずることが望ましい状態。	39.21709度	141.27651度
宇南橋	ウナンハシ	江刺	菅生大谷地線	1980	3.2	5	II	側壁に埋めコンクリート部に鉄筋露出及びひびわれ、局部的な遊離石灰の析出が認められる。漏水による鉄筋腐食の進行が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.248830度	141.270970度
菅生橋	スゴハシ	江刺	菅生砂子沢線	1975	6.3	6.5	III	桁間の間詰部に遊離石灰、錆汁の析出が見られる。PC桁に影響を及ぼす可能性があるため、早期に措置を講ずるべき状態。	39.24751度	141.26618度
樽和川第4号橋	ウルカワダイ4コウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	7.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.23965度	141.20535度
樽和川第3号橋	ウルカワダイ3コウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	7	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.23958度	141.20718度
樽和川第2号橋	ウルカワダイ2コウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	6.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない状態。	39.23844度	141.21031度
樽和川第1号橋	ウルカワダイ1コウキョウ	江刺	宮田牛沢線	1983	4	8.2	II	A2橋台堅壁にひびわれ、舗装に土砂詰まりが見られる。	39.23751度	141.21052度
下谷地田橋	シモヤチカハシ	江刺	大辰鴨ヶ崎線	1976	11	5.6	II	桁間の間詰部に遊離石灰の析出がみられる。つららに進展している箇所もあるため、予防保全の観点から対策を講ずることが望ましい状態。	39.24867度	141.22843度
宝祿排水路1号橋	ホウロクハイスイロコウキョウ	江刺	関根百連寺碓波線	不明	6	4.3	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1橋台基礎部(バイルベント)に移動・傾斜が見られる。	39.19293度	141.15761度
江刺幹線用水路18号橋	エサカシケンセンヨウスイロ18コウキョウ	江刺	百連寺瀨谷子線	1975	6	3.9	II	主桁、床版に腐食が見えらる。	39.218056度	141.13472度
江刺幹線用水路19号橋	エサカシケンセンヨウスイロ19コウキョウ	江刺	百連寺瀨谷子線	1975	3.5	2.6	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.22056度	141.13222度
宇津良橋	ウツラハシ	江刺	火石線	不明	7.3	7.5	II	橋台の角部に凍害によるコンクリート欠損が見られる。構造上重要な箇所であり、予防保全の観点から対策を講ずることが望ましい状態。	39.18663度	141.30388度
上根津菜橋	カネツナハシ	江刺	火石線	不明	2.3	6.5	II	頂版の1スパンのみに幅0.05mm程度のひびわれが認められる。ボックス全体が湿地状態であることから進行性は高いと考えられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.190440度	141.347890度
小高橋	コガハシ	江刺	反町前広田線	1995	3.9	4.2	II	頂版に局部的な鉄筋露出及び漏水が認められる。雨水の影響により腐食の進行が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.159330度	141.186270度
鍋倉排水路4号橋	ナベクラハイスイロ4コウキョウ	江刺	反町前広田線	1996	5.5	7	II	頂版に幅0.1mm～0.2mm程度のひびわれが認められる。漏水の影響は見られないが、ひびわれが広範囲に見られることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.166430度	141.190230度
餅田堰用水路6号橋	モチタセキヨウスイロ6コウキョウ	江刺	餅田下惣田線	1996	3.2	17.7	I	歩道路面に路面の凹凸及びひびわれが認められる。最大60mm程度の段差があり、道路利用者の安全性の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.179170度	141.190560度
栄町下水路4号橋										

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度西暦	橋長(m)	有効幅員(m)	R5	所見等	緯度	経度
前谷地西橋	マエヤチニシパン	水沢	高速側道西3号線	1978	10.3	3.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.128611度	141.18333度
前谷地東橋	マエヤチトシパン	水沢	高速側道東3号線	1978	8.9	6	II	主桁に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.128611度	141.18889度
クルス堀橋	クルスパン	水沢	西田森下1号線	1963	7.5	6.1	II	横桁に鉄筋露出が見られる。進行が見られるため、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.129167度	141.120833度
クルス堀下の橋	クルスバンタパン	水沢	福原桜屋敷西2号線	1963	7.4	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.129444度	141.123333度
町裏橋	マチウラパン	水沢	福原桜屋敷西1号線	1996	8.3	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.128889度	141.12556度
川端橋	カワハシ	水沢	北上野福原線	1997	10.5	16	II	堅壁に1.7mmのひびわれが見られる。乾燥収縮が要因と推定される。ひびわれ幅が広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.129722度	141.132222度
福音橋	フクイン	水沢	天文台通り桜屋敷線	1996	9	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.130833度	141.134167度
片子沢橋	カチザワパン	水沢	西町下笹森線	1987	13.6	16	II	排水管に腐食と防食機能の劣化、部分的な欠損が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.131111度	141.136388度
中上野橋	ナカウラパン	水沢	山崎町堰合線	1997	9.6	4	I	A1橋台に0.2mmひび割れがあり、注工を行うのが良い。PC桁目地に軽度な漏水・遊離石灰がある。進展性は低いと思われる経過観察でよい。	39.131111度	141.139722度
大鐘橋	オオカネパン	水沢	中町大鐘線	1962	13.6	12.1	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.130556度	141.141111度
鶴瀬上の橋	ツルセノミパン	水沢	町裏見分森線	1975	6.4	5.4	II	主桁に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.124722度	141.111111度
袖谷地橋	スデヤチパン	水沢	西田森下3号線	1994	4.8	3	II	頂版に漏水が、A1側壁に遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125833度	141.117500度
袖谷地西橋	スデヤチニシパン	水沢	高速側道西3号線	1976	9.1	3.8	II	主桁に鉄筋露出が見られる。進行は見られないが、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.126389度	141.118333度
袖谷地東橋	スデヤチトシパン	水沢	高速側道東3号線	1975	9.1	6	II	主桁に凍害が原因と思われる鉄筋露出が見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.126389度	141.118889度
袖谷地下の橋	スデヤチシタパン	水沢	西田森下1号線	1996	4.9	4.9	II	頂版に漏水・遊離石灰および変形・欠損、側壁に遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.126944度	141.120000度
外谷地北橋	ソノヤチキタパン	水沢	外谷地鶴瀬線	1996	4.1	7.5	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128333度	141.123888度
桜屋敷橋	サクラヤキパン	水沢	堰合桜屋敷1号線	1992	2.4	6.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125833度	141.128333度
大鐘南下の橋	オオカネミナシタパン	水沢	南大鐘1号線	1981	3.6	4.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.127500度	141.13975度
道場下の橋	ミチノモパン	水沢	高速側道東6号線	1994	9.8	4.3	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.171944度	141.118611度
樋渡橋	ヒノジパン	水沢	寺領水ノ口線	1977	2.1	3.5	I	健全である。	39.147222度	141.117500度
樋渡下の橋	ヒノジシモノパン	水沢	樋渡西広町線	1977	2	3.5	I	健全である。	39.147500度	141.119444度
二反田橋	ニヘダパン	水沢	水山東高山線	1982	2.5	4.3	I	健全である。	39.147500度	141.12277度
二反田下の橋	ニヘダシモノパン	水沢	水山幅下線	1982	2.5	4.3	I	健全である。	39.14777度	141.125555度
八反町橋	ハツチマチパン	水沢	勝手町線	1991	2	5	II	漏水の影響による凍害が原因と考えられる剥離・鉄筋露出が見られる。進行性のある損傷であることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.136666度	141.123333度
上町2号橋	ウエマチゴウキョウ	水沢	大町石田線	1982	2.9	7.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.144722度	141.135555度
高屋敷下の橋	タカヤキシタパン	水沢	西町3号線	1980	5.4	6.5	II	主桁に凍害が原因と思われる鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.136667度	141.132222度
水沢工業団地橋	スイワウギョウダンチパン	水沢	東バイパス側道1号線	1997	2.2	8.1	II	頂版に漏水・遊離石灰がみられる。漏水は継続的にみられ今後凍害の影響も受ける可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.164341度	141.164341度
花園町橋	ハナノマチパン	水沢	十文字秋成線	1989	2.8	24.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.142022度	141.155025度
堰合下の橋	ヱキアイシタパン	水沢	山崎町堰合線	1992	2.9	9.4	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に幅0.3mmのひびわれ、遊離石灰が見られる。今後凍害の影響を受けの可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128055度	141.130000度
堰合上の橋	ヱキアイウエパン	水沢	川端堰合線	1994	2.8	9	II	頂版及び側壁にひびわれ、防護柵に腐食がみられる。漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.127500度	141.129722度
曾根田1号橋	ソネダイチゴパン	水沢	五味田曾根田線	1996	3.3	6.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.153322度	141.088295度
曾根田2号橋	ソネダイニゴパン	水沢	明神堂曾根田線	1996	4	7	III	頂版と側壁に錆汁混じりの漏水・遊離石灰が見られる。コンクリート内の鉄筋が腐食していると推定される。耐久性確保の観点から速やかな補修が望ましい。	39.151272度	141.089650度
沢田1号橋	サワダ1ゴウキョウ	水沢	白井坂線	1997	2.2	9.8	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に目地材の脱落が見られる。予防保全の観点から速やかな補修を行うことが望ましい。	39.161341度	141.157244度
東小深田橋	ヒガシコカフダパン	水沢	佐野原矢中線	1998	2.2	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.158658度	141.156205度
桜屋敷1号橋	サクラヤキイチゴウキョウ	水沢	堰合桜屋敷2号線	1994	2.4	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125833度	141.128055度
西町上の橋	ニマチウエパン	水沢	西町堰合線	1955	3.2	6.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138888度	141.130055度
高屋敷橋	タカヤキパン	水沢	西町堰合線	1980	6.1	9.1	II	排水管に欠損が見られる。損傷の進行によりコンクリート部材への影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.136666度	141.131111度
大橋	オオハシ	水沢	西町堰合線	1999	8.6	8.9	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.128611度	141.127500度
惣前町2号橋	ソウマエマチゴウキョウ	水沢	東バイパス側道6号線	2002	4.2	5	II	頂版に床版ひびわれが見られる。また、A1・A2側壁に乾燥収縮が要因と推定される幅0.35～0.4mmのひびわれも見られる。ひびわれ幅が広く、ひびわれ間隔も狭いことから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.152338度	141.162311度
北塩加藤上の橋	キタシオカウエパン	水沢	太日通り山崎町線	2006	3.7	5.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133333度	141.146666度
甲田橋	カウチパン	水沢	中田町橋手線	2006	2.8	4.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.132222度	141.148888度
北塩加藤橋	キタシオカウ	水沢	十文字秋成線	1970	3.5	13.4	II	A2橋台壁に剥離とうきが見られる。凍害によるものと推定される。損傷の進行により、構造安全性に影響するため予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.130555度	141.151666度
東鶴巻1号橋	ヒガシツルマキイチゴウキョウ	水沢	台町南塩加藤線	2006	2.9	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.129722度	141.153611度
東鶴巻2号橋	ヒガシツルマキニゴウキョウ	水沢	太日通り東鶴巻線	2006	4.3	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128888度	141.154444度
町屋敷橋	マチヤキパン	水沢	瀬台野高根線	1967	4.4	9.6	II	主桁に欠損、A1橋台壁にうきと剥離が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128888度	141.156111度
泉橋	イズミパン	水沢	東中通り町屋敷1号線	2005	2.9	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128611度	141.159166度
朝日橋	アサヒパン	水沢	東中通り町屋敷2号線	1996	2.5	6.5	II	頂版及び側壁に幅0.2～0.3mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広く、ひびわれ間隔も狭いことから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.128888度	141.160277度
町屋敷東橋	マチヤキヒガシパン	水沢	熊ノ堂町屋敷線	2021	2.9	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.128611度	141.162777度
堤根橋	ツツネパン	水沢	堤根沼尻線	2021	2.9	6.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128333度	141.162777度
一ノ沢橋	イチノザワパン	水沢	石名坂上野起線	1997	3.4	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.123611度	141.165833度
石名坂橋	イシノザカパン	水沢	石名坂若草線	1990	3.5	7.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.121944度	141.166111度
上野起南橋	カミノキミミパン	水沢	原ノ下上野起線	1966	8	3	II	地中に鉄筋露出と変形・欠損が見られる。車両等の接触が要因と推定される。雨水の影響により鉄筋の腐食の進行性が高まり、コンクリート部材の損傷原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.120000度	141.168888度
沢田橋	サワダパン	水沢	原ノ下上野起線	2000	4	4.2	II	頂版・側壁に幅0.2mm～0.3mmのひびわれ、側壁に幅0.6mmの遊離石灰を伴ったひびわれが見られる。頂版においては亀甲状となっている。コンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.119722度	141.166666度
大内田前橋	オウチダマエパン	水沢	大内田前伊手迎線	1978	6	2.7	III	A1橋台基礎部(バイルベント)に移動・傾斜、袖壁背面部に沈下が見られる。	39.11802度	141.16850度
船橋	フナパン	水沢	車堂殿野起線	1997	5.2	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.114722度	141.170555度
須江1号橋	スエ江1ゴウキョウ	水沢	十文字秋成線	2001	8.9	12	II	頂版・側壁に幅0.4～0.6mm程度のひびわれ、頂版直上の舗装にひびわれが認められ、頂版においては亀甲状となっている。コンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128611度	141.149722度
乾燥橋	ホシパン	水沢	幅下町南線	1996	9	5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.126111度	141.151944度
宮田橋	ミヤタパン	水沢	堂林前迎線	1995	9	3.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.121667度	141.153333度
迎煙橋	ムカイウハシ	水沢	谷地堰迎線	1995	9.5	4	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.119444度	141.154167度
北下田橋	キタシモゲパン	水沢	瀬台野高根線	1969	11.1	9.2	II	A2堅壁剥離が見られる。凍害によるものと推定される。予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.118055度	141.155555度
神田橋	ヒノパン	水沢	北下田神田下線	1979	14	6.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.115555度	141.158888度
水ノ口橋	ミヅノパン	水沢	堤ノ内水ノ口前線	1963	11	2.8	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.114722度	141.160278度
杉山下橋	スキヤマシタパン	水沢	十文字秋成線	1977	5.9	9.3	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.127222度	141.146111度
杉山下歩道橋	スキヤマシタトウキョウ	水沢	十文字秋成線	1991	4.2	3.1	II	健全であり、部材の機能に支障が生じていない状態。	39.127222度	141.146111度
杉山下3号橋	スキヤマシタサンゴウキョウ	水沢	南塩加藤杉山下線	1984	3.95	3.2	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12722度	141.146944度
杉山下2号橋	スキヤマシタニゴウキョウ	水沢	十文字秋成線	1965	4.4	13.5	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.12726度	141.14783度
杉山下4号橋	スキヤマシタヨウキョウ	水沢	幅下町南線	1997	2.9	4.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.12528度	141.14778度
堂林前1号橋	ドウバシマエイチゴウキョウ	水沢	柿ノ木下南塩加藤線	2000	2.9	17.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.12500度	141.149166度
堂林前2号橋	ドウバシマエニゴウキョウ	水沢	堂林前谷地中線	2000	2.9	4.1	I	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られるが、道路橋の機能に支障が生じていない。	39.122777度	141.150277度
堂林前3号橋	ドウバシマエサンゴウキョウ	水沢	谷地中幅下線	2001	2.9	3.3	II	頂版に遊離石灰が見られる。今後凍害の影響を受けやすいと考えられる。予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	39.122777度	141.151388度
谷地中橋	ヤチカハシ	水沢	南塩加藤北下田線	1994	3	5	III	頂版に幅0.2mmの床版ひびわれ、側壁に幅1.8mmのひびわれが見られる。部分的に角落ちが見られ、BOX構造性への影響が懸念されることから、速やかに補修することが望ましい状態。	39.121111度	141.152222度
志田見沢橋	シタミザワパン	水沢	志田見沢柿ノ木下線	1987	5	4.4	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.12027度	141.146866度
杉ノ下橋	スキノシタパン	水沢	北下田柿ノ木下線	1993	2.7	2.7	I	健全である。	39.117222度	141.150000度
北下田2号橋	キタシモゲニゴウキョウ	水沢	瀬台野高根線	1982	2.4	9.8	II	堅壁に漏水・凍害、防護柵に損傷範囲の広い腐食が見られる。予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.115555度	141.151944度
北下田1号橋	キタシモゲイチゴウキョウ	水沢	水ノ口前2号線	1981	3.4	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11527度	141.156111度
水ノ口前1号橋	ミヅノマエイチゴウキョウ	水沢	林前2号線	1980	3.4	7.2	II	床版に錆汁、舗装に異常が見られる。	39.11555度	141.156944度
水ノ口前2号橋	ミヅノマエニゴウキョウ	水沢	水ノ口前1号線	1980	3.45	5.2	II	床版に遊離石灰、A2橋台壁にひびわれ、排水管に土砂詰まりが見られる。	39.11527度	141.15777度
北下田5号橋	キタシモゲゴウキョウ	水沢	瀬台野高根線	1998	2.1	10	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.115000度	141.155277度
明正6号橋	メイジョウロクゴウキョウ	水沢	明正下小谷木1号線	1972	2.8	3.5	II	舗装部に段差が生じている。道路利用者に対する安全確保のため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.135277度	141.184166度
沼尻4号橋	ヌマリノシゴウキョウ	水沢	沼尻2号線	1972	5.3	2.9	I	道路橋の機能に支障を生じていない。	39.130000度	141.184444度
沼尻5号橋	ヌマリノコウキョウ	水沢	下小谷木沼尻2号線	1970	5.4	2.9	II	主桁に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.128889度	141.184444度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
大手橋	オオテハン	水沢	大手通り線	2001	2.4	23.4	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に幅0.3mmのひびわれ、地覆に幅1.7mmのひびわれが見られる。 ひびわれは乾燥収縮が要因とされ、部材への影響が懸念されることから、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.141536度	141.138997度
新堀6号橋	ニイリノコウキョウ	水沢	山居折居町線	2002	7	13.4	II	頂版、側壁に乾燥収縮が要因と思われる0.4~0.7mm幅の一方向ひびわれが見られる。	39.098611度	141.144166度
八反町7号橋	ハチマンチナゴウキョウ	水沢	土手堂田線	1996	5.9	5	I	頂版に局部的な漏水、側壁に幅0.15mmのひびわれが見られる。前回点検時からの損傷の進行は見られないことから、道路橋の機能に支障が生じていない状況である。	39.095277度	141.148333度
八反町4号橋	ハチマンチヨコウキョウ	水沢	要害5号線	1997	4.1	4	I	頂版に局部的な漏水、側壁に幅0.15mmのひびわれが見られる。いずれも軽微な損傷であるため、道路橋の機能に支障が生じていない状況である。	39.096666度	141.141944度
八反町8号橋	ハチマンチハチゴウキョウ	水沢	砂川堂田線	1995	5.8	6	II	頂版に遊離石灰、側壁に漏水が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.091944度	141.149444度
京原橋	キョウハラハン	水沢	松田余目下線	不明	4.6	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.109722度	141.164166度
島田1号橋	シマダイチゴウキョウ	水沢	島田境田線	1999	5.8	5.3	II	頂版に床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.100277度	141.164444度
中崎橋	ナカザキハン	水沢	中崎宮沢線	不明	3.3	4	II	頂版に漏水・遊離石灰が見られる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.095833度	141.116666度
原ノ西2号橋	ハラノシニコウキョウ	水沢	マイア Netanyahu 32号線	2008	2.4	14.1	II	頂版に目地材の脱落および錆汁混じりの遊離石灰、両側壁に漏水・濁水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.119444度	141.163333度
野地田2号橋	ノヂノエニコウキョウ	水沢	マイア Netanyahu 33号線	2008	2.4	12.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.119444度	141.161666度
向畑1号橋	ムカイノコウキョウ	水沢	宝柳木・御山下線	1975	3.3	5.5	II	地覆に変形・欠損、ひびわれが見られる。凍害により今後さらに進行する前に措置を講ずることが望ましい。	39.146952度	141.189888度
下屋敷1号橋	シタヤシキゴウキョウ	水沢	駅南和田線	1973	5.2	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.141111度	141.190000度
下屋敷2号橋	シタヤシキニコウキョウ	水沢	下屋敷和田線	1973	5.2	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.13954度	141.18911度
明正1号橋	メイジョウイチゴウキョウ	水沢	下屋敷窪田線	1972	6	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.13826度	141.18832度
沼尻橋	ヌマリハン	水沢	沼尻洗田線	1972	7.3	5.6	II	床版及び橋台壁面に漏水・遊離石灰、添築物に腐食と防食機能の劣化、変形が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行が高いと考えられるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.135555度	141.186666度
沼尻2号橋	ヌマリニコウキョウ	水沢	明正1号線	1972	4.2	4.2	II	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.13555度	141.186944度
明正4号橋	メイジョウヨウゴウキョウ	水沢	明正沼尻線	1972	2.2	3.3	II	頂版と側壁に漏水が見られる。目地材からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行が高いと考えられるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.133888度	141.185833度
八幡橋	ハチマンハン	水沢	沼尻北端ノ木線	1961	13	3.4	II	床版に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.132222度	141.186111度
蓬橋	フキハン	水沢	沼尻窪線	1980	7	3	III	A1-A2橋台フーチングに洗濯が見られる。損傷範囲が広く、橋台の安定に影響を及ぼす損傷であり、構造的安全性の観点から早期に補修を行うことが望ましい。	39.127778度	141.186666度
上大久保橋	オホオキホハン	水沢	大久保線	1983	12.8	5	II	床版に遊離石灰が、舗装に舗装ひびわれが見られる。床版の損傷範囲は狭くないが、直上の舗装ひびわれが確認されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.193611度	141.165833度
菅生田橋	スウケタハン	水沢	沢田小田線	1992	13.8	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.096667度	141.213056度
桜橋	サクラハン	水沢	谷地袖ノ沢線	1968	11.4	4.2	II	床版に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.097500度	141.215833度
念仏坂橋	ネンブツノサカハン	水沢	長根下柳線	不明	7.1	2.7	II	A1-A2橋台パイルベントにひびわれが見られる。他部材への影響が懸念されるため、補修することが望ましい。	39.087222度	141.196389度
渡邊橋	ワタベハン	水沢	正法寺柳沢線	1983	12.5	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.075556度	141.211111度
向畑2号橋	ムカイバニダニコウキョウ	水沢	向畑5号線	1975	3.2	12	II	防護柵、緑石に変形・欠損、舗装に段差差97mmの路面の凹凸、沈下、ひびわれが見られる。 通行に影響を与える可能性が考えられるため、第三者被害防止の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.144905度	141.190344度
向畑3号橋	ムカイバニタニコウキョウ	水沢	向畑8号線	1975	3.3	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.144069度	141.190758度
沼尻3号橋	ヌマリサノゴウキョウ	水沢	窪田明正1号線	1972	4.4	4.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.13578度	141.187564度
白石沢橋	シロイシザワハン	水沢	白石沢1号線	不明	10	3.2	II	P1橋脚柱部に遊離石灰を伴うひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.07000度	141.184444度
経塚沢橋	キョウツカザワハン	水沢	兵士沢線	1969	3	3.3	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.081111度	141.211388度
土橋	ツキハン	水沢	兵士沢線	1970	5.1	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.078333度	141.222222度
下川端橋	シモカワハハン	水沢	羽田幹線	不明	3.4	34.8	II	翼壁に幅25mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広いため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.142222度	141.191388度
北栗林歩道橋	キタクリハヤシホドウキョウ	水沢	勝手町線	不明	7	2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.152061度	141.135567度
楠ノ木下2号橋	カネノキジノゴウキョウ	水沢	中野線	不明	2.9	6.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.113611度	141.148055度
要害前橋	ヨガイマエハン	水沢	秋成本線	不明	9.6	16	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.118888度	141.154166度
松ノ木沢川1号橋	マツノキザワウチノコウキョウ	前沢	松ノ木沢4号線	不明	13.5	2	II	主桁側面に乾燥収縮が要因と思われるひびわれと、床版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.094166度	141.103611度
松ノ木沢川2号橋	マツノキザワフチノコウキョウ	前沢	松ノ木沢5号線	不明	13.6	2	II	床版に浸透水が要因と思われる錆汁混じりの遊離石灰が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.093055度	141.105833度
松ノ木沢川3号橋	マツノキザワサウチノコウキョウ	前沢	松ノ木沢6号線	不明	13.5	2	II	床版に遊離石灰の析出が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材への影響が高いと考えられるため、予防保全の観点より速やかに補修することが望ましい。	39.093055度	141.108888度
松ノ木沢橋	マツノキザワハン	前沢	松ノ木沢外ヶ沢1号線	1972	13.9	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.093055度	141.110833度
松ノ木沢川5号橋	マツノキザワウチノコウキョウ	前沢	松ノ木沢外ヶ沢2号線	不明	13.4	2.5	III	主桁、横桁、支承に腐食、防護柵に腐食とゆるみ・脱落、変形が見られる。支承はアンカーボルトのゆるみも見られることから橋梁構造の安全性の観点から、早期に措置を講ずべき状態。	39.091388度	141.118055度
四谷橋	ヨチヤハン	前沢	北館四ツ谷線	1970	12.5	6	III	主桁、支承に部材膨張や版厚減少を伴う腐食が見られる。橋梁構造の安全性の観点から、早期に措置を講ずべき状態。	39.091111度	141.119722度
志人沢橋	シニンザワハン	前沢	寺ノ上志人沢線	不明	3.6	3.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.09056度	141.12028度
松ノ木沢川7号橋	マツノキザワウチノコウキョウ	前沢	志ノ上志人沢線	1971	13.4	3	II	主桁、横桁、支承、防護柵に表面的な腐食が広範囲に見られる。錆の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.091666度	141.127777度
種次橋	タネジハン	前沢	折居線	1962	12.6	3.3	II	床版に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰、舗装の一部に段差20mmが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.091388度	141.137777度
北館橋	キタダンハン	前沢	北館橋下線	1957	12	1.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.090555度	141.139166度
桜町橋	サクラマチハン	前沢	北館東砂子田線	1985	13.3	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.090277度	141.140277度
館合下橋	タリイソトハン	前沢	館合下東見寺下線	1994	14.1	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.085555度	141.138333度
明後沢川4号橋	メイゴウザワウチノコウキョウ	前沢	東見寺下前沖線	1997	8.8	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.083611度	141.144166度
堂田橋	ドウタハン	前沢	林後1号線	1959	11.2	3.2	II	主桁A1側端部側面に鉄筋露出が見られる。凍害によるものと推定される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.087500度	141.150833度
関口橋	セキグチハン	前沢	古館線	1956	11.1	5.5	II	床版に遊離石灰が見られる。橋面からの浸透水が要因と思われる。漏水は継続的で進行性が高いことから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.086111度	141.154722度
館沖橋	タリイノサカハン	前沢	船橋古館線	2001	13	12	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.085555度	141.157777度
松ノ木沢川15号橋	マツノキザワウチノコウキョウ	前沢	保志場津津根線	1956	11.1	2.3	II	床版に浸透水が要因と推定される遊離石灰が見られ、壁面に凍害が要因と推定される剥離、地覆に凍害が要因と推定される鉄筋露出が見られる。損傷の範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.085277度	141.160000度
松ノ木沢川16号橋	マツノキザワウチノコウキョウ	前沢	保志場沼田線	1979	11.1	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.085000度	141.163055度
明後沢橋	メイゴウザワハン	前沢	寺ノ上志人沢線	2004	9.4	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.083333度	141.133333度
明後沢川5号橋	メイゴウザワウチノコウキョウ	前沢	中田前水上西線	2001	10	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.083333度	141.146944度
明後沢川6号橋	メイゴウザワウチノコウキョウ	前沢	古館線	2000	10	6	II	伸縮装置に経年劣化が要因と思われる目地材の脱落が見られる。漏水によるコンクリート部材の劣化が懸念されるため、予防保全の観点から補修することが望ましい状態。	39.081944度	141.149166度
丑の子上橋	ウシノコサカハン	前沢	新山前中島線	2000	9.5	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.081111度	141.151944度
明後沢川12号橋	メイゴウザワウチノコウキョウ	前沢	野中前新山前線	2000	12	7.1	II	伸縮装置に最大50mmの段差と変形・欠損、舗装にひびわれが見られる。軸荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、措置を講ずることが望ましい。	39.081111度	141.152222度
上板子沢橋	イタゴザワハン	前沢	横道前裏新田線	不明	11.2	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.073611度	141.100833度
寺領水路1号橋	シノウスイロウチノコウキョウ	前沢	荒屋敷沖亀田線	2001	2.3	5.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.076111度	141.135277度
寺領水路2号橋	シノウスイロウチノコウキョウ	前沢	荒屋敷沖要害線	1975	4.8	5.1	III	間詰め床版に遊離石灰が見られる。	39.07581度	141.13737度
寺領水路3号橋	シノウスイロウチノコウキョウ	前沢	内ノ町十文字線	2000	6	2.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.07527度	141.139166度
四反田橋	シタダンハン	前沢	東見寺堂ノ木線	1976	7.6	5.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.076667度	141.153333度
明後沢川10号橋	メイゴウザワウチノコウキョウ	前沢	高殿橋田線	1994	9.4	5	II	床版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水・遊離石灰が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	39.073611度	141.150833度
松ノ木沢川17号橋	マツノキザワウチノコウキョウ	前沢	内屋敷線	1996	6	2.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.07694度	141.168611度
前沢水路1号橋	マエザワウチノコウキョウ	前沢	不動堀線	不明	3	2.7	II	A1橋台壁面にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.067222度	141.118888度
丑沢上橋	ウシザワカサハン	前沢	丑沢橋道後線	1977	4	8.9	II	A1橋台壁面に変形・欠損が見られる。	39.141111度	141.076388度
丑沢水路4号橋	ウシザワウチノコウキョウ	前沢	要害十文字線	2003	2.3	3.9	II	頂版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.070555度	141.136944度
寺領水路7号橋	シノウスイロウチノコウキョウ	前沢	野中健取線	2001	6	3.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.07025度	141.14850度
寺領水路8号橋	シノウスイロウチノコウキョウ	前沢	高殿石持線	2001	6.8	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.06994度	141.14922度
明後沢川11号橋	メイゴウザワウチノコウキョウ	前沢	石持高殿線	1999	4.5	5	II	頂版、側壁に幅0.3~0.4mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が大きいため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.069722度	141.149722度
寺領水路9号橋	シノウスイロウチノコウキョウ	前沢	野中前新山前線	2011	6.7	1.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.070833度	141.146666度
四反田水路3号橋	シタダンウチノコウキョウ	前沢	野中前新山前線	不明	2.9	11.2	II	頂版に幅0.9mm、側壁に幅1.0mmのひびわれが見られる。ひびわれ幅が広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.072222度	141.148333度
宮内排水路7号橋	ミヤチハイスイロウチノコウキョウ	前沢	上野銭神2号線	1997	2.4	6.5	II	舗装面に凹凸が見られる。軸荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、維持工事にて対応する必要がある	39.088888度	141.154166度
迎谷起橋	ムカイヤキハン	前沢	迎谷起線	1984	6	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.067500度	141.175277度
輔八橋	ソクハチハン	前沢	北二ノ台線	1973	4.1	6.9	II	床版に遊離石灰、A2橋台壁面に変形・欠損、舗装に異常が見られる。	39.06305度	141.100555度
丑沢水路8号橋	ウシザワウチノコウキョウ	前沢	亀田大曲橋線	1973	8.4	5.2	II	主桁に剥離が見られる。施工目地部に損傷が生じており、凍結融解作用の影響と推定される。水の影響を受ける部位であり、進行性のある損傷のため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい状態。	39.065277度	141.139444度
丑沢水路9号橋	ウシザワウチノコウキョウ	前沢	古城田中野中前線	1978	8.1	2.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.063611度	141.140833度
彼岸田橋	ヒカンデンハン	前沢	亀田大曲橋線	1990	8.8	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.063333度	141.148055度
宮内排水路9号橋	ミヤチハイスイロウチノコウキョウ	前沢	亀田大曲橋線	1997	2.1	4.2	I	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に漏水・濁水が見られる。いずれも変状は局部的であり、道路橋の機能に支障が生じていない。	39.063888度	141.154444度
宮内排水路10号橋	ミヤチハイスイロウチノコウキョウ	前沢	筋田館線	1997	2.1	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.062500度	141.154444度
天王橋	テンノウハン	前沢	下沢田1号線	不明	3.3	2.9	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.06556度	141.18444度

道路橋名	別記	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
一の沢橋	イチノザワハシ	前沢	二ノ沢ーノ沢線	1982	3.5	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.06166度	141.076944度
太郎ヶ沢川2号橋	タロウガサカワコウキョウ	前沢	藤森養ヶ森線	1976	6.8	3	II	主桁に凍害が要因と思われる欠損が見られる。凍害による損傷が大きくなることが予想されるため、速やかに措置を講ずることが望ましい。	39.060277度	141.104444度
丑沢水路10号橋	ウシザラスイロジュウコウキョウ	前沢	安久沢東島線	1998	3.5	5	II	側壁に漏水・遊離石灰とひびわれ、舗装に路面の凹凸、土砂詰まり、防護欄に防食機能の劣化がみられる。 予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.060555度	141.141666度
丑沢水路11号橋	ウシザラスイロユウイチコウキョウ	前沢	北久保安久沢東線	不明	4.5	5.4	III	主桁の下部に鉄筋露出、壁（基礎部）に深さ20cm程度の洗堀が確認される。橋梁構造上の観点から早期に補修を行うことが望ましい。	39.059166度	141.142777度
安久沢南橋	アサヒノミヤハシ	前沢	北久保安久沢東線	不明	3.4	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.05888度	141.142777度
藤巻橋	フジマキハシ	前沢	阿部館三反田線	1998	12.3	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.059167度	141.145000度
宮内排水路13号橋	ミヤウチノ排水路13号橋	前沢	天王谷起1号線	1997	2.5	3.5	II	目地の欠損が見られる。変状は局部的であるが、漏水によりコンクリート部材の損傷原因に繋がるため、措置を講ずることが望ましい。	39.057777度	141.152777度
天王谷起橋	テンノウキハシ	前沢	明土阿部館線	不明	11.6	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.058055度	141.144444度
宮内排水路11号橋	ミヤウチノ排水路11号橋	前沢	筋田明土線	1997	2.1	5.2	II	頂版に漏水・滞水、両側壁にひびわれが見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられる。予防保全の観点より措置を講ずることが望ましい。	39.061388度	141.154722度
岩の沢川6号橋	イワノザワ川6号橋	前沢	生白10号線	不明	5.8	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.060277度	141.178333度
岩の沢川7号橋	イワノザワ川7号橋	前沢	南在中道線	2001	6.1	9	III	頂版に最大幅0.5mmの床版ひびわれ、翼壁に遊離石灰を伴う0.6mmのひびわれが見られる。予防保全の観点から速やかな補修を行うことが望ましい。	39.058333度	141.175000度
町裏橋	マチウラハシ	前沢	南在中道線	1965	7.5	6.5	II	主桁にひびわれやうきが見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.058056度	141.175000度
下野橋	シモノハシ	前沢	町谷地前線	2003	7.8	12.9	II	頂版に0.3mmの床版ひびわれ、両側壁に0.35mmのひびわれ、防護欄にボルトの脱落がみられる。角落ちは見られないがひびわれ幅が大きいため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.057777度	141.174166度
本田橋	ホンダハシ	前沢	町谷地前線	1969	5	6.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.057222度	141.175556度
太郎ヶ沢川3号橋	タロウガサカワ3号橋	前沢	藤森障場線	1977	13.4	3	II	主桁、横桁に腐食と防食機能の劣化が見られる。支保部は本体とアンカーボルトに腐食がみられ、層状剥離が確認される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.058333度	141.108333度
太郎ヶ沢川4号橋	タロウガサカワ4号橋	前沢	障場太郎ヶ沢線	不明	6.1	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.05277度	141.109166度
大林寺下橋	ダイリンジノ下橋	前沢	大林寺下線	1987	4.5	3.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.05611度	141.127222度
宮内排水路16号橋	ミヤウチノ排水路16号橋	前沢	天王谷起前沢下谷起線	1998	7.4	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.053333度	141.147778度
岩の沢川8号橋	イワノザワ川8号橋	前沢	生白23号線	2001	7.7	5.5	II	頂版に床版ひびわれ、側壁にひびわれが見られる。それぞれひびわれ幅は0.2～0.3mmと比較的広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.053055度	141.171666度
岩の沢川9号橋	イワノザワ川9号橋	前沢	生母下谷起線	1976	11	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.051389度	141.164722度
岩の沢川15号橋	イワノザワ川15号橋	前沢	生白22号線	不明	9	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.054722度	141.173333度
南在1号橋	ミナミアイチコウキョウ	前沢	南在4号線	1990	5.9	4.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.052500度	141.173055度
南在2号橋	ミナミニゴウキョウ	前沢	南在4号線	1990	6.4	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.052500度	141.174166度
南在3号橋	ミナミサンゴウキョウ	前沢	南在4号線	1989	5.8	5.3	II	頂版に乾燥収縮が要因と思われる床版ひびわれが見られる。	39.052777度	141.174722度
生母不動橋	シモノトウハシ	前沢	町谷地前線	1963	6.4	7.6	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.055436度	141.176981度
岩沢橋	イワサハシ	前沢	南在中道線	1967	7.3	6.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.053333度	141.172500度
大日向橋	オホヒナタハシ	前沢	大日向線	1998	2.4	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.052500度	141.182222度
滝の沢橋	タキノザワハシ	前沢	滝ノ沢三沢線	不明	3.7	2.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.0528度	141.191111度
太郎ヶ沢川5号橋	タロウガサカワ5号橋	前沢	治ヶ崎太郎ヶ沢線	不明	7.3	3	III	支保部、アンカーボルトに腐食が見られる。前回点検から著しい損傷の進行が見られることから、速やかに補修することが望ましい。	39.046667度	141.113611度
岩の沢川10号橋	イワノザワ川10号橋	前沢	羽場下谷起線	不明	11.7	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.049444度	141.161389度
岩の沢川11号橋	イワノザワ川11号橋	前沢	羽場館下1号線	不明	11.7	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.048333度	141.160000度
雨瀬橋	アメスハシ	前沢	市ノ渡1号線	不明	5.8	2.7	III	床版全体に剥離が見られる。部材への影響が懸念されることから、速やかに補修することが望ましい。	39.048056度	141.178611度
成岡田橋	ナリオガタハシ	前沢	成岡田線	不明	2.8	6.2	II	頂版縦目にも横面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.05277度	141.191111度
太郎ヶ沢川10号橋	タロウガサカワ10号橋	前沢	平前塔ヶ崎線	不明	9.5	1.6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.04138度	141.12333度
前沢水路13号橋	メサウスイロジュウコウキョウ	前沢	高畑2号線	不明	5	3	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。進行性のある損傷であることから、早期対策が望ましい。	39.045000度	141.127222度
五反田北橋	ゴタンキョウ	前沢	高畑前沢中線	不明	4.4	3.3	II	両側壁のハンチンに鉄筋露出が見られる。かぶり不足が要因と推定される。雨水の影響により鉄筋腐食の進行性が高まり、コンクリート部材の損傷原因となり得るため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.04166度	141.127777度
前沢水路14号橋	メサウスイロジュウコウキョウ	前沢	前沢中高畑線	1994	3.1	5	II	頂版に目地部からの漏水・滞水が見られる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.043611度	141.129444度
前沢水路15号橋	メサウスイロジュウコウキョウ	前沢	南前沢古川線	1994	5.6	5.4	II	頂版と側壁に目地部からの漏水・滞水、地覆側面に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.041111度	141.129722度
太郎ヶ沢川7号橋	タロウガサカワ7号橋	前沢	大塚線	不明	8.4	4.4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.040555度	141.126944度
太郎ヶ沢川8号橋	タロウガサカワ8号橋	前沢	南前沢一本杉線	1994	8.4	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.040833度	141.128333度
鳥橋	トリハシ	前沢	高畑島線	1994	3.2	4.9	II	頂版と側壁に漏水・滞水が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.041111度	141.138333度
太郎ヶ沢川9号橋	タロウガサカワ9号橋	前沢	一本杉狐堂線	1994	10.5	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.039444度	141.129722度
谷起橋	ヤキハシ	前沢	屋敷南前沢線	不明	12.1	1.8	III	杭基礎に荷重が要因と推定されるひびわれが見られる。杭の構造的影響が大きいものと推定され、橋梁構造上の安全性の観点から速やかに補修を行う必要がある。	39.036667度	141.131389度
大塚橋	オオツカハシ	前沢	高畑赤面線	1994	10.7	9	II	頂版に横面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出が見られる。舗装ひびわれが発生している箇所の直下付近であることから予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.037500度	141.130555度
芥田橋	カイダハシ	前沢	下谷起鶏林線	不明	3	3.1	III	主桁に掛け落ちが見られる。	39.03911度	141.15176度
芥田1号橋	カイダイコウキョウ	前沢	芥田4号線	2001	3.2	5.4	II	頂版及び翼壁に遊離石灰、床版に洗堀が見られる。遊離石灰による凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.052777度	141.148055度
田谷下橋	タヤノ下橋	前沢	田谷線	不明	7	2.7	II	橋脚脚部に凍害の影響による剥離、伸縮装置に15～20mmの段差が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.031388度	141.145277度
赤生津開田橋	アカシヅメ開田橋	前沢	上水向谷起線	不明	7.2	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.029167度	141.142500度
内緒橋	ナイセノハシ	前沢	吉田小六線	1976	12	3.6	III	主桁に腐食が見られる。前回の点検時から加率的に進行していることから、早期に措置を講ずる必要がある。	39.027222度	141.139722度
箱石橋	ハコイハシ	前沢	吉田柳沢線	不明	4	7	II	A1橋台壁面に剥離・鉄筋露出、舗装に異常が見られる。	39.02361度	141.141666度
明後沢川13号橋	メイゴザワ川13号橋	前沢	真城堂上ノ台台線	1988	12.5	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.038611度	141.141667度
内ノ町橋	ウチマチノハシ	前沢	野田上ノ台台線	不明	2.4	10	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.074444度	141.141388度
野中前橋	ノカマエハシ	前沢	野田上ノ台台線	不明	3.4	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.064722度	141.140000度
姥屋敷橋	ウバヤシキハシ	前沢	圃場整備内	不明	2.6	5.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.08661度	141.139722度
前沖1号橋	メサエキコウキョウ	前沢	館合下前沖線	2004	2.1	5	II	舗装面に凹凸が見られる。輪荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、維持工事にて対応する必要がある。	39.084722度	141.144166度
沖屋敷1号橋	オキヤシキコウキョウ	前沢	館合下沖屋敷線	2004	2.1	17	II	舗装面にひびわれが見られる。輪荷重の繰り返しによる損傷の拡大が懸念されるため、維持工事にて対応する必要がある。	39.08277度	141.144166度
鳥塚1号橋その2	トリノ塚1号橋その2	前沢	寺下広表線	1991	2.4	3.5	II	頂版及び側壁に漏水が見られる。漏水により今後凍害の影響も受けやすくなるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.137222度	141.066111度
駒堂橋	コマダハシ	前沢	駒堂上広岡線	1998	2.6	4	II	頂版及び側壁に漏水・滞水、漏水・遊離石灰が見られる。損傷範囲が広く、部材への影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156388度	141.080555度
上戸橋	ジョウテンハシ	前沢	木場場下川原上代線	1998	2.5	4.5	II	側壁に漏水・滞水、防護欄に変形がみられる。目地部からの漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.156666度	141.084166度
三谷橋	ミヤハシ	前沢	上戸1号線	1998	2.4	4.5	II	頂版の縦目にも横面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出、側壁の縦目からの漏水が見られる。範囲も広く、今後凍害の影響を受けやすくなるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.156944度	141.086944度
猪川1号橋	イノカワ1号橋	前沢	五松林上戸線	1987	8.4	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.152222度	141.078611度
猪川2号橋	イノカワ2号橋	前沢	駒堂館線	1979	8.5	7	II	伸縮装置に経年変化が要因と思われる路面の凹凸が見られる。段差が35mmあり範囲も広く、今後通行車両のタイヤ等に影響を与える可能性が高くなることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.151666度	141.078333度
外記橋	ゲキハシ	前沢	木場場下川原上代線	1989	6.8	3.3	II	主桁に鉄筋露出が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.14905度	141.085556度
外記1号橋	ゲキイチゴウキョウ	前沢	五木田外記線	1995	3.3	14.4	II	頂版及び側壁に漏水・底版に土砂堆積、舗装に土砂詰まりが見られる。頂版は今後凍害の影響を受けやすくなるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.150000度	141.086666度
上戸2号橋	ジョウトニコウキョウ	前沢	五松林上戸2号橋	不明	2.6	11.5	I	健全であり、部材の機能に支障は生じていない状態。	39.153333度	141.080333度
二丁目橋	ニチウメノハシ	前沢	堀田宇南田線	不明	3.1	7.1	II	A1橋台壁面にひびわれが見られる。	39.14944度	141.09666度
堀根1号橋	ホリネ1号橋	前沢	吉城千刈田線	不明	3.9	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.149166度	141.104166度
谷地中橋	ヤチノ下橋	前沢	堀根堀川線	1965	6.5	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.150000度	141.105277度
千刈田橋	チノ刈田橋	前沢	千刈田南都田田中線	不明	3.9	3	II	床版に床版ひびわれ、A1側壁に剥離・欠損が見られる。	39.14916度	141.110833度
中井橋	ナカイハシ	前沢	中井五木田線	1964	2	3.7	III	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁面に欠損が見られる。	39.14793度	141.05788度
石仏2号橋	イソトキニゴウハシ	前沢	三反町下川原谷地中線	1993	2.2	4	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.144444度	141.075833度
石仏1号橋	イソトキイチゴウハシ	前沢	駒堂館線	1979	8.5	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.145555度	141.078611度
熊野橋	クマノハシ	前沢	駒堂上広岡線	1967	8.5	3.8	II	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.147500度	141.081666度
郷田橋	ゴウダハシ	前沢	郷田森下線	不明	5.5	4.7	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に段差量72mmの路面の凹凸が見られる。今後凍害の進行による損傷の拡大が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.146388度	141.092222度
遠興院橋	トウキョウハシ	前沢	机地下広岡線	1977	5.3	5.5	II	床版に漏水・遊離石灰、舗装に段差量30mmの路面の凹凸が見られる。床版は、一部に錆汁の混入も確認されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.146388度	141.094444度
机地1号橋	ウツチノ下橋	前沢	袖ノ町千刈田線	1995	2.5	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.146666度	141.096666度
机地2号橋	ウツチニコウハシ	前沢	堀田宇南田線	1995	3	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.146944度	141.096944度
化粧野3号橋	ケツノノ下橋	前沢	化粧野幅下線	1992	2.1	3.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.138333度	141.048333度
鳥塚3号橋	トリノ塚3号橋	前沢	五木田若柳広表1号線	1991	2	4.5	II	頂版に目地部からの漏水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.137222度	141.066111度
谷地中1号橋	ヤチノ下橋	前沢	駒堂館線	不明	5.5	6.9	II	A1橋台壁面にひびわれ、舗装に異常が見られる。	39.14111度	141.079166度
谷地中2号橋	ヤチノ下橋	前沢	三反町下川原谷地中線	1953	4	3.5	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.06305度	141.10055度

道路橋名	シカト	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
京徳田1号橋	キョウトクダイチゴウハン	胆沢	机地下広岡線	1990	2.9	5	II	頂版に二方向の床版ひびわれが見られる。荷重により、進行性が高くなると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.138333度	141.095833度
塚田橋	ツカダハン	胆沢	郷田森下線	1997	2.4	3.5	II	防護柵にボルトの脱落が見られる。第三者被害が懸念されるため、措置を講ずることが望ましい。	39.138333度	141.093333度
大橋橋	オホハシ	胆沢	銭倉北峠線	1968	3.9	11.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138333度	141.089722度
京徳田橋	キョウトクダハン	胆沢	宇南田上中谷地線	1974	6.6	8	II	主桁に欠損、床版に遊離石灰、堅壁に幅1.3mmのひびわれ、防護柵に腐食が見られる。損傷範囲も比較的広いことから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.138333度	141.098333度
宇南田橋	ウナダハン	胆沢	堀田広表線	2000	2.7	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138055度	141.101111度
谷地橋	ヤチハン	胆沢	二丁目片沢線	1978	9.4	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.138333度	141.103888度
界田橋	サカイハン	胆沢	堰根通川線	1993	3.8	6	II	頂版及び側壁に漏水・滞水が見られる。漏水は継続的に見られることから、コンクリート部材劣化の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点より措置を講ずることが望ましい。	39.139722度	141.106388度
午房谷地2号橋	ゴホウヤチニコウハン	胆沢	宇南田板谷線	1996	3.3	4	II	頂版及び側壁に漏水・滞水が見られる。漏水は継続的に見られ、コンクリート部材劣化の進行性が高くなることから、予防保全の観点より措置を講ずることが望ましい。	39.140277度	141.107222度
午房谷地1号橋	ゴホウヤチイチゴウハン	胆沢	千刈田鶴田線	1996	3.4	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.140833度	141.108611度
上田中1号橋	カミナカイチゴウハン	胆沢	上田中明神下線	1995	2.1	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133055度	141.040000度
上田中2号橋	カミナカニコウハン	胆沢	上田中丹波線	1995	2.2	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133888度	141.041388度
卯台2号橋	ウダイニコウハン	胆沢	卯台丹波線	1992	2.5	4.7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135555度	141.043611度
前川端3号橋	マエカワハシゴウハン	胆沢	卯台丹波線	1990	7	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.132777度	141.044444度
化粧野1号橋	ケシヨウイチゴウハン	胆沢	島丹波線	1991	2.2	6.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.137222度	141.046388度
三反町1号橋	サンハンマチイチゴウハン	胆沢	下田中松原線	不明	2.2	3.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.054444度
新中1号橋	シンナカイチゴウハン	胆沢	中井福荷1号線	1991	2.2	6.8	II	頂版および側壁に漏水・滞水が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.135833度	141.061111度
島塚1号橋	シマツカイチゴウハン	胆沢	寺下広表線	1991	2	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.137222度	141.066111度
吾柳広表橋	ウヤナキヒロオモホシ	胆沢	寺下広表線	不明	5	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.136111度	141.069644度
独光1号橋	ドッコウイチゴウハン	胆沢	独光館線	1989	4.4	8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135833度	141.073055度
南都田大連4号橋	ナツタダイノヨコウハン	胆沢	駒堂上広岡線	1995	4.6	5.9	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.133333度	141.083333度
四ツ柱1号橋	ヨツハシライチゴウハン	胆沢	銭倉北峠線	1994	2.3	9.6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134166度	141.090727度
四ツ柱2号橋	ヨツハシニコウハン	胆沢	郷田森下線	1996	2.3	4.3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.093888度
駒木橋	コマキハン	胆沢	机地下広岡線	1996	2.3	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.096388度
南都田広表1号橋	ナツタヒロモイチゴウハン	胆沢	宇南田上中谷地線	1997	2.5	8	II	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135000度	141.098888度
南都田広表2号橋	ナツタヒロモニコウハン	胆沢	下松原鶴田線	1997	2.3	14.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.136111度	141.098888度
板谷橋	イタバシ	胆沢	板谷鶴田線	1980	5.9	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.134444度	141.109444度
鶴田1号橋	ツルタイチゴウハン	胆沢	板谷鶴田線	1980	6.3	3	II	主桁に乾燥収縮が要因とされる、ひびわれが見られる。ひびわれ幅0.3mmと広く、漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.135000度	141.111944度
鶴田2号橋	ツルタニコウハン	胆沢	鶴田1号線	1994	2.2	8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.135555度	141.114444度
上の沢橋	カミノサワハン	胆沢	上愛宕北中央線	1995	10.9	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127500度	140.968333度
門ヶ城橋	カドガシロハン	胆沢	下鹿合要路線	不明	6.2	5.8	II	橋桁、床版、堅壁に凍害が要因とされるに鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は今後進行するおそれがあるため措置を講ずることが望ましい。	39.128333度	140.987500度
寿安塚橋	シユアンツカキハン	胆沢	上堰袋橋	1996	4.5	6.8	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127655度	141.032666度
土橋2号橋	トハシニコウハン	胆沢	土橋出店線	1993	4.1	4	II	頂版に乾燥収縮が要因と思われる1方向の遊離石灰を伴った床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.127222度	141.031944度
土橋1号橋	トハシイチゴウハン	胆沢	土橋大持線	1993	4.5	3.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128611度	141.031388度
於呂閉志橋	オロヒシハン	胆沢	土橋明神下線	不明	8.6	4.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.144483度	141.139661度
茂井羅橋	シゲイラハン	胆沢	明神川原北台線	1976	7.4	6.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.131666度	141.036666度
明神下橋	メイシンジタハン	胆沢	明神下香取線	1989	2.3	5.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.130833度	141.033611度
堰合1号橋	セキアイチゴウハン	胆沢	土橋大持線	1989	4	4.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128333度	141.033333度
堰合2号橋	セキアニコウハン	胆沢	土橋出店線	1989	2.8	4.4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127500度	141.034166度
前川端1号橋	マエカワハシイチゴウハン	胆沢	上田中明神下線	1990	7	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.131944度	141.040277度
作屋敷1号橋	サクヤシイチゴウハン	胆沢	独光館線	1991	2.1	8.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.130000度	141.073611度
園分1号橋	コウブンイチゴウハン	胆沢	駒堂館線	1965	3.3	5.7	II	主桁に鉄筋露出、A1A2橋台堅壁に傾斜が見られる。	39.12833度	141.080833度
下広岡2号橋	シモヒロウニコウハン	胆沢	下広岡板谷線	1995	3.3	3.6	II	頂版および側壁に漏水・滞水が見られる。損傷範囲が広いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128055度	141.097500度
松岩寺橋	シユウガンジハン	胆沢	宇南田上中谷地線	1975	7.4	8	II	堅壁に漏水、防護柵に腐食が見られる。橋台の漏水は広範囲であり、凍害の影響を受けて損傷の進行性が高くなると考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.128055度	141.099722度
下松岩寺橋	シモユウガンジハン	胆沢	下堂川窪鶴田線	1985	3.2	6.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.128333度	141.100277度
丑ヶ深橋	ウシガフカハン	胆沢	谷地片沢線	1970	3.6	2.7	II	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.12944度	141.102222度
浅野4号橋	アサノヨウハン	胆沢	谷地片沢線	1995	3.3	4.3	II	頂版と側壁に橋面からの浸透水が要因と思われる遊離石灰の滲出、舗装に58mmの路面の凹凸が見られる。遊離石灰の滲出は広範囲に発生しており、凍害による損傷の要因にもなりうるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.128055度	141.102222度
浅野橋	アサノハン	胆沢	下堂川窪鶴田線	1986	3.5	6.5	II	頂版及び側壁に漏水・滞水が要因と思われる鉄筋露出、地覆に鉄筋腐食膨脹が要因と思われるうきが見られる。局所的であるが鉄筋腐食が進行しつつあるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.129644度	141.103838度
浅野1号橋	アサノイチゴウハン	胆沢	二丁目片沢線	1980	5	3.2	II	A1A2橋台堅壁に剥離・鉄筋露出、舗装に路面の凹凸が見られる。	39.13156度	141.104736度
濁川2号橋	ニワカウニコウハン	胆沢	二丁目片沢線	1995	3.3	3.6	II	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.127913度	141.104905度
濁川3号橋	ニワカウサウコウハン	胆沢	堰根川線	1994	3.3	4	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。漏水は広範囲に発生しており、今後凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.127833度	141.108463度
愛宕橋	アタゴハン	胆沢	愛宕堰通線	不明	7	6.5	II	床版に遊離石灰、堅壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸が見られる。主桁・床版は、遊離石灰を伴う漏水の影響により、今後も進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.123502度	141.000477度
土橋3号橋	トハシサンゴウハン	胆沢	土橋堰合線	不明	4.2	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125452度	141.032341度
出店3号橋	デダナサンゴウハン	胆沢	出店御清水場2号線	1990	2.4	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.126186度	141.041258度
出店1号橋	デダナイチゴウハン	胆沢	明神川原北台線	1989	2.7	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.126488度	141.036638度
柏木田2号橋	カシノキダニコウハン	胆沢	柏木田八幡屋敷線	1990	2.7	4	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125777度	141.045377度
大町2号橋	オオマチニコウハン	胆沢	大町若柳杖橋線	1990	2.3	5.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125575度	141.048027度
大町1号橋	オオマチイチゴウハン	胆沢	化粧野幅下線	1990	2.3	3	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.125450度	141.050558度
茂井羅南堰橋	シゲイラミナミセキハン	胆沢	相馬堰前高藤線	1987	8.5	7.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.144483度	141.139661度
要害2号橋	ヨカヱニコウハン	胆沢	相馬堰南都田小十字線	1985	8.4	5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.124563度	141.063127度
要害4号橋	ヨカヱヨウハン	胆沢	要害南都田小十字線	1991	2.3	3.4	I	健全である。	39.124258度	141.064958度
鍛冶屋敷1号橋	カシヤシキイチゴウハン	胆沢	要害南都田小十字線	2000	6.1	3.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.12291度	141.064736度
林福野2号橋	リンフクノゴウハン	胆沢	漆町峠の手線	1994	3.3	5.4	II	頂版、側壁に目地からの漏水、舗装に路面の凹凸、ひびわれ等が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125158度	141.077500度
林福野1号橋	リンフクノイチゴウハン	胆沢	独光館線	1994	2.7	16.8	II	舗装に経年劣化が要因と思われる最大76mmの凹凸が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.124708度	141.074625度
大持1号橋	ダイチイチゴウハン	胆沢	独光加賀谷地線	1992	3.3	7.2	I	頂版に二方向ひびわれ、欠損が見られる。どちらも損傷が軽微であるため、状況に応じて補修を行うのが望ましい。	39.12436度	141.07096度
大持2号橋	ダイチニコウハン	胆沢	独光加賀谷地線	1992	4.5	6	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定される一方向のひびわれが見られる。ひびわれの進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.12431度	141.07096度
上広岡橋	カミヒロウハン	胆沢	上広岡森下線	1994	3.5	3.3	II	A1側側のPC鋼材縦絡め金具の保護コンクリートが剥離している。定着金具に腐食が見られる程度であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125544度	141.088191度
園分2号橋	コウブンニコウハン	胆沢	上広岡化粧板線	1994	3.3	5.2	II	PC鋼材縦絡め金具の保護コンクリートが剥離している。定着金具に腐食が見られる程度であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125408度	141.085197度
清志田橋	シメジダハン	胆沢	駒堂館線	1994	3.4	6.3	II	目地部からの漏水が要因と推定される遊離石灰の滲出が見られる。漏水は継続的、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125677度	141.081366度
清志田1号橋	シメジダイチゴウハン	胆沢	駒堂館線	1965	2	6.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.122211度	141.081769度
粧谷田橋	コウジヤダハン	胆沢	郷田森下線	1995	3.4	5.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.121516度	141.095330度
下広岡1号橋	シモヒロウイチゴウハン	胆沢	郷田森下線	1995	3.7	2.8	II	PC鋼材縦絡め金具の保護コンクリートが剥離している。定着金具に腐食が見られる程度であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.126863度	141.094675度
堀川橋	アガウハン	胆沢	銭倉北峠線	1995	3.4	11.1	II	頂版に橋面からの浸透水による漏水、側壁には凍害の影響による鉄筋露出が確認された。今後、凍害の影響を受けやすいことから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.125733度	141.091875度
片子沢橋	カタコサウハン	胆沢	宇南田上中谷地線	1975	6.1	8.1	II	橋台堅壁に乾燥収縮が要因と思われるひびわれ、支那本体に経年劣化による腐食と防食機能の劣化が見られる。ひびわれは、幅が広く漏水の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい状態。	39.123236度	141.103758度
粧谷田1号橋	コウジヤダイチゴウハン	胆沢	粧谷田2号線	1995	3.4	4	II	目地部から橋面からの浸透水が要因と推定される漏水が見られる。漏水は継続的、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.121875度	141.098361度
片子沢1号橋	カタコサウイチゴウハン	胆沢	片子沢1号線	1997	3.5	8.4	II	頂版・側壁に漏水が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.124697度	141.107525度
上堰橋	ウヰキハン	胆沢	愛宕堰通線	1991	5.3	6.5	II	頂版に繰り返す荷重が要因と推定される幅0.3mm程度のひびわれが見られる。また、漏水・遊離石灰の滲出も部分的に見られる。	39.119927度	141.031944度
堀通橋	ホリトシハン	胆沢	堀通線	1991	3.7	3.4	II	側壁に乾燥収縮が要因と推定されるひびわれが見られる。損傷の進行が見られるため、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.118825度	141.031944度
上堰1号橋	ウヰキイチゴウハン	胆沢	愛宕堰通線	1992	2.4	6.5	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に漏水が見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.119941度	141.031772度
上堰2号橋	ウヰキニコウハン	胆沢	虎口上堰線	1991	3.8	4.2	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.117958度	141.031297度
土橋5号橋	トハシゴウハン	胆沢	土橋幅下線	1992	4.1	4	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定されるひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.121658度	141.032561度
山の神橋	ヤマノカミハン	胆沢	明神川原北台線	1984	7.7	7	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.117797度	141.036880度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設 年度 西暦	橋長 (m)	有効 幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
一枚橋	イチダイバシ	胆沢	下豊刈窪鶴田線	1986	12.5	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.116666度	141.042336度
山ノ神2号橋	ヤマノシニゴウバシ	胆沢	明神川原北台線	1992	3.7	7.1	II	頂版・側壁に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.11792度	141.03692度
山ノ神3号橋	ヤマノシサンゴウバシ	胆沢	下豊刈窪鶴田線	1991	3.6	8.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.116725度	141.042513度
二枚橋	ニマバシ	胆沢	下豊刈窪鶴田線	1986	2.7	7.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.118208度	141.044450度
野中1号橋	ノカチゴウバシ	胆沢	野中下十文字線	1993	2.8	3	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.118663度	141.047350度
下十文字2号橋	シメジウモンジゴウバシ	胆沢	下十文字線	1992	2.4	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.116316度	141.049491度
幅屋敷3号橋	ハバヤシキサンゴウバシ	胆沢	菅塚南都田小十文字線	1996	2.1	3.6	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.121388度	141.058055度
石行橋	イネキョウバシ	胆沢	石行1号線	2004	2.6	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.119166度	141.065555度
蛸の手2号橋	タコテニゴウバシ	胆沢	蛸の手2号線	1965	2.5	6.2	II	流水による壁の浸食が見られる。予防保全の観点から、補修を行うことが望ましい。	39.116944度	141.082222度
萩の窪1号橋	ハギノクボイチゴウバシ	胆沢	鎌倉北峠線	1995	4.1	14.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.121111度	141.092222度
川北2号橋	カキノクニゴウバシ	胆沢	北長権南長権線	1982	5.1	2.1	II	主桁に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。	39.11694度	141.096388度
下長権橋	シモガタシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1976	5.1	8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.118333度	141.106666度
川北1号橋	カキノクニイチゴウバシ	胆沢	川北前屋沢線	1983	4.8	7	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定される一方のひびわれが見られる。ひびわれの進行が見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.117777度	141.099722度
北笹森3号橋	キタササモリサンゴウバシ	胆沢	北笹森8号線	1978	5.4	6.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.116111度	141.118333度
下笹森橋	シモササモリバシ	胆沢	笹森下笹森線	2000	2.3	6.9	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.116944度	141.127500度
下笹森3号橋	シモササモリサンゴウバシ	胆沢	小山二枚橋南笹森線	2000	2.3	6.7	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.117222度	141.128888度
下笹森1号橋	シモササモリイチゴウバシ	胆沢	下笹森小山二枚橋線	1977	11	3.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11805度	141.130833度
下笹森2号橋	シモササモリニゴウバシ	胆沢	岩ヶ馬場小山二枚橋線	1975	12.5	3	II	主桁・横桁・支保部本体に腐食が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.118333度	141.131944度
二枚橋1号橋	ニマバシイチゴウバシ	胆沢	龍ヶ馬場小山二枚橋線	1990	4.1	5.8	I	健全である。	39.117777度	141.135277度
宮沢原橋	ミヤザハラバシ	胆沢	宮沢原横沢線	不明	4.2	5.9	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11416度	141.00000度
若柳西風1号橋	ワカヤナギサイゴウバシ	胆沢	上土橋上中沢線	1977	3	6.6	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。今後、凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.113333度	141.012500度
若柳西風6号橋	ワカヤナギサイロウゴウバシ	胆沢	上土橋上中沢線	1995	3.6	6.2	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.110833度	141.007222度
野中3号橋	ノカチゴウバシ	胆沢	南丑転下十文字線	1989	2	6.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.113333度	141.050277度
上十文字橋	カシノウモンジバシ	胆沢	南丑転下十文字線	1990	14	6.5	I	伸縮装置部に路面の凹凸、地覆に変形・欠損が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11102度	141.04439度
十文字橋	シユウモンジバシ	胆沢	小山小十文字長泥線	1993	2.2	5.9	I	健全である。	39.115555度	141.053611度
長泥橋	ナガトバシ	胆沢	相馬権前嘉藤線	1989	7.3	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.115555度	141.059722度
小山小十文字1号橋	オヤマジウモンジイチゴウバシ	胆沢	小山小十文字長泥線	1993	2.2	3.4	I	健全である。	39.115555度	141.056388度
小山小十文字2号橋	オヤマジウモンジニゴウバシ	胆沢	小山小十文字長泥2号線	1993	2.2	3.4	I	健全である。	39.115555度	141.058055度
長泥1号橋	ナガトイチゴウバシ	胆沢	下十文字長泥1号線	1993	2.2	3.4	I	健全である。	39.114444度	141.065000度
蛸の手3号橋	タコテサンゴウバシ	胆沢	津町蛸の手線	1967	3.5	3.8	II	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.11527度	141.079166度
蛸の手1号橋	タコテイチゴウバシ	胆沢	独光館線	1995	2.7	15.6	II	頂版に漏水・遊離石灰、側壁に鉄筋露出が見られる。漏水は今後も継続的に見られることから、措置を講ずることが望ましい。	39.114444度	141.075833度
北蛸の手橋	キタコテバシ	胆沢	駒堂館線	1968	7.8	5.9	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.112777度	141.082222度
川北橋	カキノクニバシ	胆沢	駒堂館線	1969	7.4	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.112222度	141.082222度
南長権1号橋	ミナミガタシイチゴウバシ	胆沢	鎌倉北峠線	1977	5.3	5.6	II	床版に遊離石灰を伴う格子状のひびわれが見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.11249度	141.092222度
長権橋	ナガタシ	胆沢	鎌倉北峠線	1968	5.3	6	II	壁面に浸透水が要因と推定される漏水が見られる。凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.115833度	141.091944度
南長権2号橋	ミナミガタシニゴウバシ	胆沢	北長権南長権線	1994	6	2.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11250度	141.095555度
北屋沢1号橋	キタルサワイチゴウバシ	胆沢	北屋沢中屋沢線	不明	7.3	3	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.11388度	141.106666度
北屋沢2号橋	キタルサワニゴウバシ	胆沢	北屋沢1号線	不明	7.2	4	II	床版に遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.110833度	141.106944度
中屋沢橋	ナカサルサワバシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1975	8.1	8	II	A1・A2壁面に伸縮装置からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。広範囲に発生しており、凍害による損傷の要因にもなりうることから、予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	39.111666度	141.104166度
南長権橋	ミナミガタシバシ	胆沢	川北前屋沢線	1977	7.4	6.5	II	壁面に凍害が要因と推定される鉄筋露出が見られる。損傷の進行が懸念され、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.112777度	141.098888度
附野1号橋	ツケイチゴウバシ	胆沢	附野南笹森線	2000	3	5	II	目地部からの漏水が要因と推定される錆汁を伴う遊離石灰が見られる。漏水は継続的で、進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.115833度	141.123888度
中萩森橋	ナカハキモリバシ	胆沢	中萩森上萩森2号線	1969	6.2	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.105555度	140.980833度
若柳西風3号橋	ワカヤナギサイサンゴウバシ	胆沢	天沢丑転線	1993	3.6	9.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.107777度	141.011111度
南丑転2号橋	ミナムシコラシニゴウバシ	胆沢	南丑転線	1984	4.9	5.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.110277度	141.019444度
上十文字1号橋	カシノウモンジイチゴウバシ	胆沢	南丑転下十文字線	1996	2.9	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.109166度	141.032777度
北台1号橋	キタダイゴウバシ	胆沢	明神川原北台線	1994	2.2	5.4	II	頂版、側壁の目地からの漏水が見られる。状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.106111度	141.039444度
北台橋	キタダイバシ	胆沢	上十文字下大谷地線	1977	12.2	5	II	撤離桁の目地材の劣化と脱落が見られる。漏水を伴っており、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.108888度	141.043055度
北台2号橋	キタダイニゴウバシ	胆沢	上十文字下大谷地線	1991	2.3	5.4	II	頂版及び側壁において、漏水・遊離石灰が見られる。また、剥離・鉄筋露出が見られる。状況に応じて補修を行うことが望ましい。	39.108888度	141.043055度
久保5号橋	クボゴウバシ	胆沢	高線久保線	不明	7.8	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10611度	141.074444度
久保6号橋	クボロウゴウバシ	胆沢	久保2号線	不明	5.1	3.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10666度	141.073333度
上屋沢2号橋	カミサルサワニゴウバシ	胆沢	上屋沢前屋沢線	1991	3.3	6	II	頂版にひびわれが見られる。損傷の進行は見えにくいひびわれが多いため予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.108888度	141.092222度
北大畑平1号橋	キタオハタヒイチゴウバシ	胆沢	北大畑平1号線	2000	3.9	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10416度	141.023611度
北大畑平3号橋	キタオハタヒサンゴウバシ	胆沢	土橋上大平線	2009	7.5	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.105277度	141.021388度
北大畑平2号橋	キタオハタヒニゴウバシ	胆沢	山の神北大畑平線	1993	3.9	9.3	II	頂版に橋面からの浸透水が要因と思われる漏水が見られる。凍害の影響を受ける可能性が高いため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.10107度	141.02816度
下大畑平3号橋	シモオハタヒサンゴウバシ	胆沢	南台二ノ台線	1996	4	4.3	II	頂版に鉄筋露出が見られる。漏水も伴うことから変状が加速するものと推定される。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.100000度	141.038888度
南台1号橋	ミナミダイゴウバシ	胆沢	南台小山大道線	1996	12.6	9.1	II	床版に橋面からの浸透水が要因と推定される錆汁を伴う漏水が見られる。変状は局部的であるが予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101388度	141.045277度
伊勢堂橋	イセドウバシ	胆沢	南台小山大道線	1992	2.3	6	II	頂版継目部に欠損が認められる。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101388度	141.045555度
上大谷地橋	カミオヤチバシ	胆沢	上中沢萩屋敷線	1991	2.4	8.3	II	頂版に凍害が要因と推定される剥離が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.104444度	141.042777度
萩屋敷1号橋	ハラヤシキイチゴウバシ	胆沢	上中沢萩屋敷線	1968	3.5	6.6	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定されるひびわれが見られる。前回数検査から進展性がみられるため、予防保全の観点から処置を講ずることが望ましい。	39.101944度	141.059722度
萩屋敷2号橋	ハラヤシキニゴウバシ	胆沢	南大谷地二ノ台線	1997	2	14.6	II	頂版・側壁に漏水・遊離石灰が見られる。予防保全の観点から速やかに補修を行うことが望ましい。	39.101666度	141.060000度
南大谷地1号橋	ミナミオヤチイチゴウバシ	胆沢	南大谷地明山線	1996	2.1	6.9	I	健全である。	39.101388度	141.061111度
南大谷地2号橋	ミナミオヤチニゴウバシ	胆沢	小山大道明山1号線	1993	2.2	7.7	II	頂版及び側面継目に漏水・遊離石灰が認められる。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.100833度	141.062500度
小山大道橋	オヤマダウバシ	胆沢	小山大道明山線	1996	2	6	I	健全である。	39.100000度	141.065277度
館2号橋	タテゴウバシ	胆沢	駒堂館線	不明	4.4	7	III	主桁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.10507度	141.08151度
北峠2号橋	キタウケニゴウバシ	胆沢	鎌倉北峠線	1996	2	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.103055度	141.086666度
上薬山3号橋	カミヤシキサンゴウバシ	胆沢	上薬山方八丁3号線	不明	7.4	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10222度	141.096111度
北峠1号橋	キタウケイチゴウバシ	胆沢	前屋沢北峠線	1996	2	6	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなる。	39.102777度	141.090277度
齊藤橋	サイトウバシ	胆沢	宇南田上中谷地線	1977	5.1	8	II	床版に付ら状の遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.102500度	141.102500度
上薬山1号橋	カミヤシキイチゴウバシ	胆沢	上薬山方八丁1号線	1994	6	3.7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10250度	141.101388度
上薬山2号橋	カミヤシキニゴウバシ	胆沢	上薬山方八丁2号線	不明	7.3	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10250度	141.098611度
上薬山4号橋	カミヤシキサンゴウバシ	胆沢	上薬山齊藤線	1994	7.3	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10250度	141.103333度
上薬山5号橋	カミヤシキニゴウバシ	胆沢	薬山齊藤1号線	不明	7.3	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.10194度	141.106111度
上一ノ台1号橋	カミイチノダイイチゴウバシ	胆沢	上一ノ台2号線	1994	2	4.2	II	頂版継目部に欠損が認められる。雨水の影響を受けやすく、コンクリート部材劣化が懸念されるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.096388度	141.018888度
下大畑平1号橋	シモオハタヒイチゴウバシ	胆沢	下大畑平四ツ星線	不明	4.1	7.8	II	頂版に床版ひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.096944度	141.034166度
下大畑平4号橋	シモオハタヒニゴウバシ	胆沢	南台二ノ台線	不明	4.5	4.4	II	主桁に剥離・鉄筋露出、A1A2橋台壁面に変形・欠損が見られる。	39.09666度	141.038888度
下大畑平5号橋	シモオハタヒサンゴウバシ	胆沢	下大畑平一ノ台線	不明	3.3	5	I	健全である。	39.096944度	141.035555度
寿安橋	ジュアンバシ	胆沢	伊勢堂小田切線	1993	13.1	4	II	A1壁面に凍害が要因と推定される剥離が見られる。変状の進行が見られるため、予防保全の観点から処置を講ずることが望ましい。	39.095833度	141.048888度
南台2号橋	ミナミダイニゴウバシ	胆沢	南台伊勢堂線	1994	12.6	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.097222度	141.044722度
岩沢橋	イワサワバシ	胆沢	岩沢線	不明	8.9	5.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない状態。	39.097500度	141.045555度
岩沢2号橋	イワサワニゴウバシ	胆沢	南台岩沢1号線	1996	3.9	3.5	II	頂版に遊離石灰の滲出が見られる。損傷の進行性が高いと考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09867度	141.043333度
萩屋敷橋	ハラヤシキバシ	胆沢	高線明山線	1996	2.3	6.5	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。また、舗装にひびわれが見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.094722度	141.068888度

道路橋名	アカナ	所在	路線名	架設年度 西暦	橋長 (m)	有効幅員 (m)	R5	所見等	緯度	経度
萩屋敷3号橋	ハギヤシキヤウハシ	胆沢	高嶺萩屋敷線	不明	2.4	2.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.096944度	141.072772度
萩屋敷4号橋	ハギヤシキヤウハシ	胆沢	萩屋敷上忍俗線	1994	2.3	9.7	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.095833度	141.074166度
萩屋敷5号橋	ハギヤシキヤウハシ	胆沢	萩屋敷上忍俗1号線	不明	2	3	II	頂版に目地からの漏水およびひびわれ、側壁に目地からの漏水、舗装に凹凸が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.095277度	141.072500度
館1号橋	タテコウハシ	胆沢	萩屋敷北峠線	1960	2.6	6.7	II	流水による登壁の浸食が見られる。予防保全の観点から、補修を行うことが望ましい。	39.099166度	141.079722度
下野中橋	シメナカハシ	胆沢	南峠下野中1号線	1968	3.3	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.09916度	141.081388度
下野中1号橋	シメナカハシ	胆沢	下野中1号線	不明	3.3	6.5	III	A1A2橋台壁壁に変形・欠損が見られる。	39.09915度	141.08186度
道場橋	ドウバシ	胆沢	道場外浦線	不明	8.5	5	II	床版に遊離石灰を伴う漏水が見られる。変状は全体的に見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09458度	141.08015度
芥藤2号橋	サイウニコウハシ	胆沢	柴山芥藤4号線	不明	7.9	6.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.09666度	141.11444度
芥藤1号橋	サイウニコウハシ	胆沢	柴山芥藤3号線	不明	11.1	3.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.097222度	141.114166度
芥藤3号橋	サイウニコウハシ	胆沢	方八丁柴山線	2020	3.4	6.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.09750度	141.11389度
芥藤4号橋	サイウニコウハシ	胆沢	芥藤柴山線	不明	4.5	4.3	III	A1橋台基礎部(バイルベント)に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.09972度	141.113055度
萩森橋	ハギモリハシ	胆沢	中萩森新田線	1977	5.4	7	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.090833度	141.014444度
中沢橋	ナカザハシ	胆沢	上中沢萩屋敷線	1964	5.5	5.1	II	A1・A2の橋台壁壁に剥離が見られる。広範囲であるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09111度	141.01756度
中沢3号橋	ナカザハシ	胆沢	中沢11号線	1990	2.9	6	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.089722度	141.024444度
下大畑平2号橋	シモオハヒラニコウハシ	胆沢	下大畑平前四ッ屋線	不明	3.3	7.6	II	舗装にひびわれが見られる。経年劣化が要因と推定される。前回事業時より範囲が拡大しており、ひびわれ幅も1.3-10.0mmに広がっていることから道路利用者の安全性の低下が懸念されることから措置を講ずることが望ましい。	39.094166度	141.037777度
明山1号橋	アケヤマニコウハシ	胆沢	小山大道明山1号線	1990	4.2	5	II	頂版にひびわれが見られる。前回事業時から進展性がみられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.09411度	141.06124度
下忍俗橋	シモシノハシ	胆沢	道場下沢田線	不明	11	6.4	II	床版に浸透水が要因と推定される遊離石灰、壁壁に凍害が要因とされる剥離・地覆に鉄筋露出が見られる。損傷の進行により、凍害の影響が懸念されるため、予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.093611度	141.082777度
前大畑橋	マエオハヒラハシ	胆沢	前大畑大堤線	1970	11.4	6	II	床版に橋面からの浸透水が要因と推定される遊離石灰が見られる。変状は全体的に見られるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.093055度	141.090000度
西油地2号橋	ニシアブラチニコウハシ	胆沢	西油地上中谷地線	不明	2	4	II	頂版に目地からの漏水及び防護柵の変形・欠損が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.089166度	141.097222度
西油地1号橋	ニシアブラチニコウハシ	胆沢	東油地下中谷地2号橋	不明	2	4	II	側壁に目地からの漏水及びひびわれが見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.089166度	141.099722度
東油地3号橋	ヒギシアブラチニコウハシ	胆沢	東油地後四ッ屋線	不明	6.7	6.1	II	A1橋台脚壁天端に剥離が見られる。他部材への影響が懸念され、予防保全の観点から、補修することが望ましい。	39.088888度	141.107222度
下中沢橋	シモナカザハシ	胆沢	南台二ノ台線	不明	6	4.7	III	壁壁に凍害が要因と推定される剥離や欠損が見られる。変状深さが大きい。橋梁構造の安全性の観点から早期に措置を講ずる必要がある。	39.086944度	141.036111度
赤塚2号橋	アカタニコウハシ	胆沢	赤塚後鞍骨線	1987	3.4	5.4	II	側壁に幅0.5mmのひびわれが見られる。前回事業時から加速的に進行しており、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.085555度	141.060555度
森小2号橋	シノコニコウハシ	胆沢	森小新田線	1993	2	6.5	II	頂版及び側壁目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.086388度	141.063611度
森小3号橋	シノコニコウハシ	胆沢	上忍俗中橋線	1993	2	4.9	II	頂版及び側壁目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.084722度	141.073055度
中油地3号橋	ナカアブラチニコウハシ	胆沢	上油地中油地線	1987	3.9	7.3	II	頂版に乾燥収縮が要因と推定される一方のひびわれが見られる。遊離石灰を伴い進行性が高いと推定されるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.086111度	141.086111度
中油地2号橋	ナカアブラチニコウハシ	胆沢	上中谷地下油地線	1980	3.8	7.1	I	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	39.085555度	141.093055度
途橋	ミチハシ	胆沢	南大谷地二ノ台線	1989	8.7	7	II	壁壁に伸縮装置からの漏水が要因と推定される遊離石灰が見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.083611度	141.04750度
二の台橋	ニノダイハシ	胆沢	森小新田線	1971	7.4	7.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.080277度	141.056388度
下畑ヶ志田1号橋	シモエノダイチニコウハシ	胆沢	赤塚後鞍骨線	1995	5.1	5	II	頂版に凍害が原因と推定される2方向のひびわれが見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.083333度	141.071388度
狐森1号橋	キツメイトチニコウハシ	胆沢	長根竹地子線	1993	2	4.5	II	頂版目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.083333度	141.075833度
八幡堂2号橋	ハチマンドニコウハシ	胆沢	八幡堂下鞍骨線	1994	2	4	II	頂版、側壁に目地からの漏水が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.080833度	141.081388度
八幡堂3号橋	ハチマンドニコウハシ	胆沢	小山田中外浦1号線	1994	2	5.5	II	頂版、側壁に目地からの漏水、頂版側面に剥離等が見られる。予防保全の観点からなるべく速やかな補修を行うことが望ましい。	39.078888度	141.085000度
横道橋	ヨコミチハシ	胆沢	下大畑平前四ッ屋線	1973	8.5	8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.079166度	141.104166度
上白鳥川1号橋	カシラカウイチニコウハシ	胆沢	屋敷原坂線	1986	4	7.6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.075833度	141.038333度
二ノ台1号橋	ニノダイニコウハシ	胆沢	屋敷浪入線	不明	4.1	5	II	A2橋台壁壁に変形・欠損が見られる。	39.07638度	141.048888度
原川橋	ハラカウハシ	胆沢	原川持堤下線	1996	5	2.5	I	道路橋の機能に支障が生じていない。	39.078055度	141.063888度
中ノ森1号橋	ナカノモリニコウハシ	胆沢	東油地妻ヶ森線	1995	2.1	3.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.077777度	141.099444度
一ノ沢橋	イチノザハシ	胆沢	新田外浦線	1977	5.4	7	II	橋台(脚壁)に凍害が要因と思われる剥離・鉄筋露出と欠損が見られる。損傷範囲が広い。予防保全の観点から速やかに補修することが望ましい。	39.063611度	141.068888度
浪入橋	ナミリハシ	胆沢	大袋三ノ沢線	不明	9	3.8	II	防護柵に凍害が要因と思われる鉄筋露出が見られる。損傷が進行すると防護柵(鋼材)の落下等に繋がる可能性が考えられるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.066388度	141.052500度
赤薺美橋	アカザミハシ	胆沢	赤薺美5号線	不明	2.2	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.102777度	141.119722度
望み大橋	ノゾミオオハシ	胆沢	横道前山市野々前線	1996	260	6.5	III	桁桁の継目部に剥離・鉄筋露出が見られた。箱断面の減少により、耐荷力低下の恐れがあるため早期に措置を講ずる必要がある。	39.121388度	140.933333度
奥州湖大橋	オウシュウコウハシ	胆沢	谷子沢南前川山線	2011	424	6.5	II	主桁側面に緩やかな斜めひびわれ及び箱桁内部後埋めコンクリート部に格子寸前のひびわれが認められる。また橋脚柱部後埋めコンクリート部の劣化が認められる。ひびわれ幅が比較的に広い。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.106970度	140.882500度
大平野橋	オオヒラノハシ	胆沢	谷子沢南前川山線	2011	40	7	II	脚壁にひびわれが見られた。予防保全の観点から措置を行うことが望ましい。	39.085555度	140.860555度
狼岩橋	オウロウハシ	胆沢	遠分東前川山線	2011	287.4	4	II	主桁側面に緩やかな斜めひびわれ及び箱桁内部頂版に0.15mm~0.2mm程度のひびわれが認められる。また外ケーブルの定着部カバーに表面的な腐食が認められる。内部ケーブルが腐食する可能性があるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.101590度	140.881910度
岡谷踏道橋	シギヤクドウキョウ	江刺	北部開拓線	2008	38.7	4.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.305405度	141.262458度
西大畑橋	ニシオハヒラハシ	水沢	西関田明神堂川原線	1977	26	13	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.16436度	141.13119度
明正3号橋	ミョウジョウニコウキョウ	水沢	明正沼尻線	不明	2.9	5.8	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13429度	141.18552度
下谷記1号橋	シモヤキイチニコウキョウ	水沢	下谷記1号線	不明	4.5	2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.07350度	141.188082度
下谷記2号橋	シモヤキニコウキョウ	水沢	下谷記7号線	不明	2.8	2.2	II	漏水による凍害によるものと推測される。前回事業時から進展していないが、予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.072949度	141.187685度
酒元橋	サケモトハシ	水沢	酒元線	不明	5.9	6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.16657度	141.108549度
三本木2号橋	サンボノキニコウキョウ	水沢	三本木大町線	2011	4.3	9.2	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.14390度	141.144093度
明正7号橋	ミョウジョウナナニコウキョウ	水沢	駅前下小谷木線	不明	5.8	10	II	頂版に床版ひびわれ、抽換壁に剥離・鉄筋露出が見られる。	39.13386度	141.18611度
古川橋	フルカハシ	江刺	下川原力石線	不明	15	17.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.17191度	141.16962度
福荷橋	イナリハシ	江刺	藤里石原線	1975	2.6	8.4	I	健全である。	39.171738度	141.241091度
馬駒前橋	マハシマエハシ	江刺	人首街道線	1972	3	5.3	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.22078度	141.290691度
和田坂橋	ワダサカハシ	江刺	藤里口内線	1979	2	12	II	橋台基礎に洗堀が見られる。流水により洗い流されたことが要因と推定され、状況に応じて補修を行うことが望ましいと判断し、健全性は「II」と判定した。舗装に亀甲クラックが見られる。維持工事に対応することが望ましい。	39.224123度	141.244871度
江刺幹線用水路2号橋	エサカセンスイヨウスイロニコウキョウ	江刺	男石2号線	1978	2.1	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.198180度	141.173316度
栄町下水路3号橋	サカエマチカサライシンニコウキョウ	江刺	栄町反町線	不明	2.5	5.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.183542度	141.187060度
松ノ木田橋	マツノキダハシ	江刺	老耳第二線	1979	2.1	11.6	I	舗装に路面の凹凸が見られる。維持工事に対応することが望ましい。	39.21879度	141.234149度
藤波橋	フジナハシ	江刺	石割四ッ西風線	不明	8.5	8.4	III	A1A2橋台壁壁に変形・欠損が見られる。	39.28995度	141.266264度
机地4号橋	ウケンヨシニコウキョウ	胆沢	二丁目子沢線	不明	2	2.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.147946度	141.102511度
机地3号橋	ウケンサンゴニコウキョウ	胆沢	堀田広表線	不明	2	2.5	I	車両等の接触によるものと思われる防護柵の変形が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない。	39.147518度	141.100140度
礼堂橋	テウダイハシ	胆沢	北町峠線	1975	37.1	11.5	II	主桁側面に剥離・鉄筋露出、下部構造(橋台)に漏水・遊離石灰及びひびわれ、支障部に腐食が確認された。道路橋に支障は生じていないが、ジョイント漏水を起因とする変状が多く確認され、予防保全の観点から橋面補修のうえ、桁端部及び下部構造の表面処理を行うことが望ましい。	39.095972度	141.113950度
満倉4号橋	ミツクラヨシニコウキョウ	水沢	西関田明神堂川原線	1982	12.5	11.8	I	各部材の損傷は部分的かつ軽微であり道路橋の機能に支障が生じていない。	39.163836度	141.099675度
北丑沢橋	キタウシザハシ	水沢	不断町八反田線	1996	3.5	16	II	頂版にひびわれ、遊離石灰が見られる。漏水による劣化の進行が考えられ、予防保全の観点から漏水対策の実施が望ましい。	39.153997度	141.135831度
後大畑橋	ウシオハヒラハシ	胆沢	北町峠線	1965	5.3	9.3	III	床版に漏水・遊離石灰、下部工に欠損、洗堀が生じている。進行性のある損傷であり、早期の補修実施が望ましい。	39.096224度	141.102554度
小松谷木橋	コマヤキハシ	胆沢	馬留野市野々線	2015	29	4	II	経過年数5年のワールントラス橋である。鋼床版に表面的な凹みのある腐食が認められる。渓流に設置されているため、河川からの水飛沫により腐食の進行性は高いと考えられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.123280度	140.931960度
下田橋	シメダハシ	胆沢	下田市野々線	2003	15.3	3	II	側壁背面盛土の沈下による路面の段差及び劣化が認められ、頂版上面の劣化が懸念される。また防護欄支柱基部の凍結膨張による支柱の変形(うき)が確認され、車両免脱防止性能が低下しているため、道路利用者の安全性の観点から緊急に措置を講ずることが望ましい。	39.119390度	140.951510度
北赤塚2号橋	キタアカタニコウハシ	胆沢	岩淵沢北赤塚線	不明	2.2	4	I	起・終点側舗装面に路面の凹凸が認められる。道路利用者の安全性の観点から維持工事にて対応することが望ましい。	39.093530度	141.052090度
赤倉沢橋	アカクラサハシ	胆沢	谷子沢南前川山線	不明	10	7.9	III	つららの進行が見られるため、漏水対策の実施が望ましい。	39.117500度	140.890000度
小寒沢橋	コサムサハシ	胆沢	谷子沢南前川山線	2011	4.8	8	II	頂版及び側壁に幅0.15mm~0.2mm程度のひびわれが認められる。河川の影響により部材全体の湿りがあり、進行性は高いと考えられるため予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.092150度	140.863810度
南在4号橋	ミナサエニコウキョウ	前沢	南在前野線	2008	5.7	6.9	II	頂版支間部にひびわれが認められる。また舗装面の一部に最大50mm程度の段差が認められることから、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.051830度	141.176480度
落合橋	オチアイハシ	衣川	旧殿古戸線	1993	61	5	II	橋脚梁部のひびわれは伸縮部からの漏水により進行する恐れがあるため、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	39.026111度	141.060556度
鴻巣橋	コウノハシ	衣川	旧殿古戸線	1993	35.5	5	I	各部材の損傷は軽微であり道路橋の機能に支障は生じていない。	39.034167度	141.056389度
さくら大橋	サクラオオハシ	水沢	大町川原線	2016	394.7	14	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.14398度	141.144度
大野橋	オノノハシ	江刺	大野線	不明	7.8	5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.18864度	141.35709度
八幡小橋	ハチマンコハシ	江刺	玉里広瀬線	不明	3.5	8.1	II	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰については止水処理が未施工による凍害が原因と推測される。予防保全の観点から補修することが望ましい。	39.24996度	141.21315度
スマートインター東隣道	スマートインターヒナノドニコウキョウ	胆沢	附野下笹森線	2017	6.3	12.1	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.11568度	141.1248度
スマートインター東1	スマートインターヒナノド1	胆沢	附野下笹森線	2017	5	14.6	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.1143度	141.12194度
岩渡橋	イワワタハシ	水沢	明正西田線	2018	30	12.5	I	道路橋の機能に支障は生じていない。	39.13213度	141.18921度